

今後の日程

- (12月)
- 2~3 第24回中央福祉学校 (高知)
- 4 教宣部会議・事務局会議
- 5 世界人権宣言69周年記念東京集会 (東京)
- 6 世界人権宣言69周年記念大阪集会 (大阪)
- 8 和歌山県実行委員会第2回幹事会・2017年度差別事件報告集会 (ビッグ愛)
- 13 部落解放・人権夏期講座第3回実行委員会 (大阪)
- 18 和歌山全女に向けた知事への要請
- 21 対県第2次交渉(環境生活部・福祉保健部・農林水産部・県土整備部)
- 22 第135回狭山ピラ統一行動
- 対県第2次交渉(教育委員会・商工観光労働部・総務部・企画部)
- 23 第63回全国女性集会に向けた座談会 (大阪)



山本昌代・女性対策部長

はじめに、藤本哲史・県連執行委員長は「部落女性が多様な課題をもちよる集会で、過去にも何度か和歌山でひらいてきた。現地実行委員会として、みなさんのご協力をお願いし、成功にむけ尽力する」とあいさつした。山本昌代・女性対策部長が進行をし、全国女性集会の主旨説明をはじめ、集会日程や参加割

第63回全女、成功にむけ、現地実行委員会結成する

来年、和歌山市でひらかれる「第63回全国女性集会」にむけて、現地実行委員会を8月30日、同和企業センターで結成し、県共闘会議、実行委員会から16人が参加した。

当、実行委員会の体制(案)、要員の役割、集会までのスケジュールなどについて説明した。

◆実行委員会構成メンバー
 ・部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会 (JAW)わかやま中央会、和歌山人権研究所、近畿大学付属新宮高等学校・中学校、近畿大学生理工学部、山陽大学、和歌山県本部、高野山真言宗、社民党和歌山県連、田上武、和歌山県民社

◆第63回全国女性集会

- 日程 2018年5月 12日(土)13:00 ~ 13日(日)15:00
- 会場 和歌山県民分科会 大ホールほか



意見を出しあう青年たち

分科会を総括

近畿・東海・北陸ブロック
 全高・全青総括会議

協会、民進党和歌山県総支部連合会、連合和歌山、和歌山県漁業協同組合連合会、和歌山県商工会連合会、和歌山県商工会議所連合会、和歌山県職員労働組合、和歌山県同宗連、和歌山県平和フォーラム、和歌山同企連)

・部落解放和歌山県共闘会議 (NJT労働組合和歌山分会、JJP和歌山連協、自治労和歌山県本部、日教組和歌山、本州化学労働組合) 県連女性対策部
 ※太字の団体は、県共闘会のメンバーも兼ねる

第49回全高・第61回全青分科会総括会議を9月12日、京都府部落解放センターでひらかれ、松井資喜・青年部長と担当事務局2人が参加した。
 近畿ブロックで運営した第1分科会「部落解放入門」について、分科会報告の内容でグループ討議をするのであれば、高校生と青年のグループを振り分けてやってみてはどうか。また、各府県連から報告をするのであれば、報告だけではわかりづらいのでDVDなどを使ってやってみてはどうか

最後に、近畿ブロックを代表して松井青年部長から「来年8月に兵庫県で全国高校生集会・全国青年集会」がひらかれる。近畿ブロックとして、協力していきたい」とあいさつした。

隣保館はじめ、課題山積

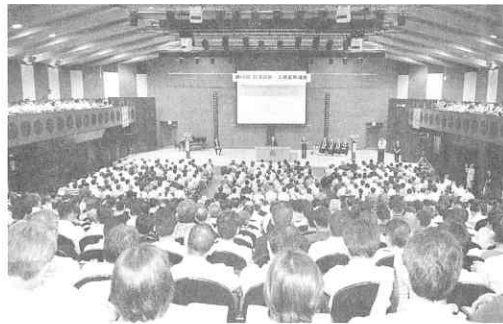
生活福祉運動部長会議

8月29日、大阪HRCビルで第74期第1回全国生活福祉運動部長会議がひらかれ、事務局が参加した。
 はじめに、山崎鈴子・中央生活福祉運動部長からあいさつがあり、第74期の運動方針と中央生活福祉運動部員の確認をおこなった。

第24回中央福祉学校の日程を12月2~3日に決定し、学習内容を実践報告と先進

高野の地で「推進法」を学ぶ 夏期講座

部落解放第48回高野山夏期講座を8月22日、23日、高野山松下講堂黎明館をはじめ高野山大学体育館などでひらかれ、全国の行政、企業、学校関係者、同盟などが参加し、さまざまな人権問題について学んだ。



全国から多くの人に参加した

はじめに、主催者を代表して、奥田均・部落解放・人権研究所の代表理事、開催地の高野山真言宗からもあいさつがあった。また、昨年の「推進法」制定・施行に大きな役割を果たした門博文・衆議院議員がかけつけ、「推進法」が制定されるまでの経緯が話され、これからも参加者のみなさんとともに、部落差別の撤廃に尽力することを誓った。

◆第49回高野山夏期講座は、2018年8月22日~24日の予定。



高野山にかけた門博文・衆議院議員

生活福祉運動部会議

につぎきグループ討議の場を設定することが提案された。また、10月5日の厚労省交渉の要求項目と交渉のポイントについて、説明と各地域での状況も含めた議論をし、当日各地の実情をしっかりと訴えていくことを確認し合った。

最後に、各県連から隣保館の状況などについてそれぞれ報告をおこない、会議をおえた。

生活福祉運動部会議

県連大会での質疑をうけ、9月6日、第2回生活福祉運動部会議をひらき、担当執行委員、県委員、障害者部会、事務局の9人が参加し、今後のとりくみをふくめ議論した。

はじめに、県連大会での申し入れについて、和歌山県実施の「障害者アンケート調査」について報告があ

支局からののお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思えます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送料) 〒640-8314

和歌山市神前405-3 部落解放同盟県連会内 解放新聞和歌山支局宛

り、議題に入った。議題では、対県交渉について、社会保障制度に関する公開研究会について、厚労省交渉について、NPO法人へのアンケート調査について、同和保育所について、障害者部会についてなどが話し合われた。とくに、障害者部会にかかわって、さまざまな意見が交わされたなかで、障害者の声は、支部単位で集約してもらおうことにかわりませんが、一方で生活福祉運動部として各支部にピラをもつてオルグやポスティングなどをおこない、支部の障害者の掘り起こしにかんして、生活福祉運動部としても入っていくことなどが提案された。